

## 長丁場(ながちょうば)

### 【今回は薬とは無関係のお話です】

先日、政府のコロナウイルス対策の諮問機関である専門家会議の副座長が『**コロナ対策は長丁場になる**』という発言をしていました。長丁場は『**時間が長くかかる時**』によく利用される言葉ですが、今回は『**丁場とはそもそも何?**』、『**なぜ丁場が長くなると時間が長くかかるのか?**』という私の国語知識の無さを露呈するようなお話になります。

### 1) 丁場(チョウバ)とは

新明解国語辞典(第5版)では: ①宿駅と宿駅との距離、②長い距離にわたる工事などの受け持ち区域とあります。また①は町場とも書いたとあります。

広辞苑(第7版)では: 上記と少しずつ表現は異なりましたが①と②の意味に加えて③馬子や駕籠かき等の溜り場とあります。漢字表記は町場、丁場、帳場とありました。

- ・宿駅は宿場の漢語的表現になりますから、たとえば江戸時代の東海道の宿場町から宿場町との距離が丁場であり、長い宿場間の距離を長丁場と呼んでいたとなります。ある一定の距離を歩く場合は人によって速度に差があるので、距離ばかりでなく**時間的要素**も加えた表現だったのでしょう。
- ・専門家会議の副座長が話した長丁場とは**コロナ禍の終息というゴールに到着するには時間が長くかかる**という意味で使用していたこととなります。
  - ☛ちなみに広辞苑で表記された帳場はふたつの辞典とも商店・宿屋等で**勘定などを**する場所と別途記載がありましたので、帳場と丁場の意味は異なると考えた方がよさそうです。

### 2) 丁(チョウ、テイ)とは

- ・そもそも丁とはどういう意味なのかが次に気になるところです。

角川新字源(改訂版)では: ①十干の第四位(甲、乙、丙、丁・・・)、②ひのと(対語;ひのえ「丙」)、③当たる、④つよい、⑤成年・働きざかり、⑥よぼろ(公役に徴発される男子)、⑦下働きの男(馬丁、丁稚など)、⑧ねんごろ(丁寧など)。②①町の略字(㊦まち、㊦距離の単位で60間(約109m)、②偶数(対語;半)、③紙等薄い物の助数詞、④長い器具を数える助数詞。
- ・丁場の意味からみると丁は②①㊦の距離を意味する使い方になるのでしょうか。場は場所で、宿場を意味すると考えれば、丁場は宿場間の距離、転じて移動する時間も意味していることが分かります。

### 3) 長丁場になる背景

先日テレビを見ていましたら東京は緊急事態宣言を出す前に既に**基本再生産数**( $R_0$ 値: 本ニュース303号参照)が**0.5に減少**しており、この値は諸外国の緊急事態宣言の**解除値**なのでそもそも緊急事態宣言を出すのはおかしかったのではないかという司会者がいました。日本のPCR検査数は諸外国に比べて**異常なほど少ない**ため日本の**真の感染者数を把握しきっていない**のは明白で、 $R_0$ の計算に必要な**感染率**をこのPCR検査結果を基に計算している限り、専門家会議が発表した日本の $R_0$ 値自体をそのまま信用して良いのか疑問が残ります。**PCR検査の増加**とそれによる感染者数の把握、**アビガン®の安全性条件付き早期利用承認**が急がれると個人的には思っているのですが・・・。(終わり)